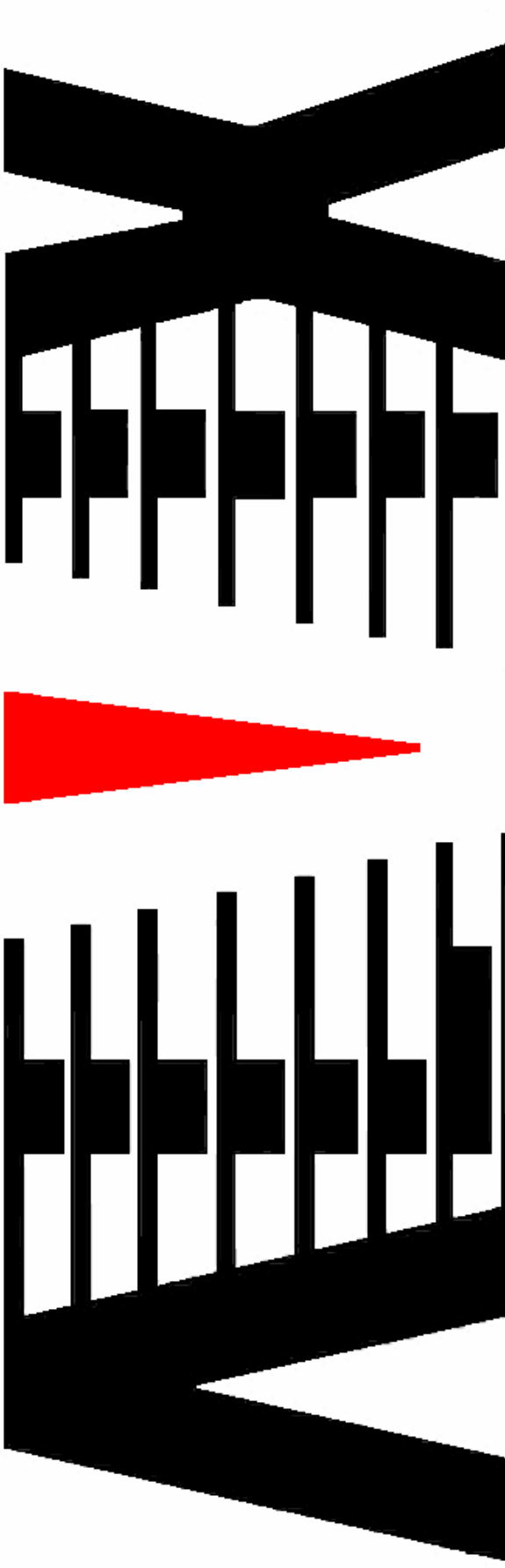
“アルビクス”「パカパカ」チェッカー　ＶＡＤ－３００
V/A ERROR DETECTION UNIT VAD-300

ハードウェア
取扱説明書 Ｖｅｒ２．０



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　次

注意事項　・・・・・　２
１．主な機能と特長　・・・・・　３
２．仕様　・・・・・　４
３．各部の名称と機能　・・・・・　５
４．接続方法　・・・・・　７
５．ＩＰアドレスの設定　・・・・・　８

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇　内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇　煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇　電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇　風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇　次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所
安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

１．主な機能と特長

１．１　ＶＡＤ－３００の特長

◇「アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」に抵触する、映像や光の点滅、コントラストの強い画面反転、急激な輝度変化などの「パカパカ」を検知し、ＬＡＮインタフェース（RJ-45）にて外部へ通知します。

◇「パカパカ」を検知したシーンをキャプチャしＰＣにＡＶＩファイルとして取り込むことができます。

◇フリーズ、ブラックアウト、無音、レベル異常など基本的な映像／音声のエラーも検知し通知します。

２．仕様

◆映像入力信号

入力信号数	：１系統			
信号形式	：映像	：HD-SDI	SMPTE292M	1080i
		SD-SDI	SMPTE259M-C	480i [D1]
	：音声	：ｴﾝﾍﾞﾃﾞｯﾄｵｰﾃﾞｨｵ	48kHz 16bit 8ch(HD-SDI時)	
			48kHz 16bit 4ch(SD-SDI時)	
	：ﾀｲﾑｺｰﾄﾞ	：HD-SDI	VITC/LTC(ｴﾝﾍﾞﾃﾞｯﾄﾞ)	
		SD-SDI	VITC(VBI)	
入力接栓	：ＢＮＣコネクタ			

◆外部通知

通信仕様	：100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インターフェース
プロトコル	：ＳＮＭＰ
コネクタ	：ＲＪ－４５モジュラ

◆キャプチャ

ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ	：ＵＳＢ２．０
録画解像度	：３２０×２４０または１６０×１２０
ファイル形式	：ＡＶＩ
コネクタ	：ＵＳＢコネクタＢタイプ

◆管理運用・キャプチャソフトウェア動作環境

ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ	：ＵＳＢ２．０
ＯＳ	：ＷｉｎｄｏｗｓＸＰ　ＳＰ２
ＣＰＵ	：Ｐｅｎｔｉｕｍ４　１．６ＧＨｚ以上
ＲＡＭ	：１ＧＢ以上
ディスプレイ	：１０２４×７６８ドット以上

※ＤｉｒｅｃｔＸ９．０以上に対応した機種

◆外形寸法　：W215 × H44 × D490 mm （1U ハーフサイズ）

◆重量　：約　３　ｋｇ

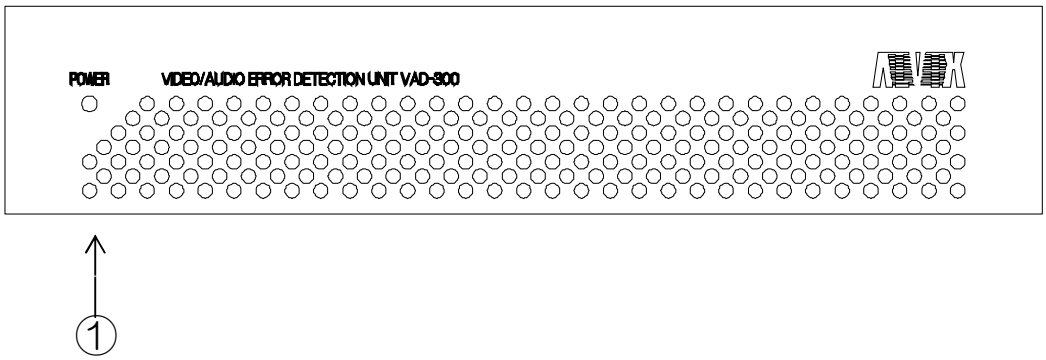
◆電源電圧：１００Ｖ±１０％　ＡＣ　５０／６０Ｈｚ

◆消費電力：約　２５　Ｗ

◆使用温度：５℃　～　４０℃

3．各部の名称と機能

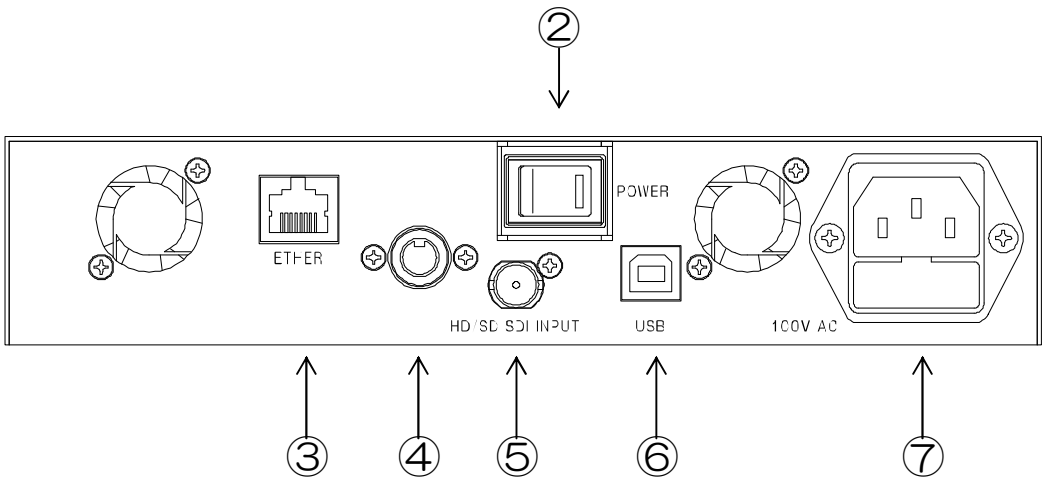
＜筐体フロントパネルの機能＞



①

1．ＰＯＷＥＲ
電源ＬＥＤです。
電源が投入されている場合、次のように点灯します。
・ＨＤ－ＳＤＩが入力されている場合　　：常時点灯
・ＳＤ－ＳＤＩが入力されている場合　　：３秒点灯、１秒消灯の繰り返し
・入力が無い場合　　：１秒点灯、３秒消灯の繰り返し

＜筐体リアパネルの機能＞



2．ＰＯＷＥＲ
電源スイッチです。電源が投入されるとＬＥＤが点灯します。

3．ＥＴＨＥＲ
１００ＢＡＳＥ－ＴＸ／１０ＢＡＳＥ－Ｔ対応のＬＡＮコネクタです。
外部 PC との SNMP 通信に使用します。

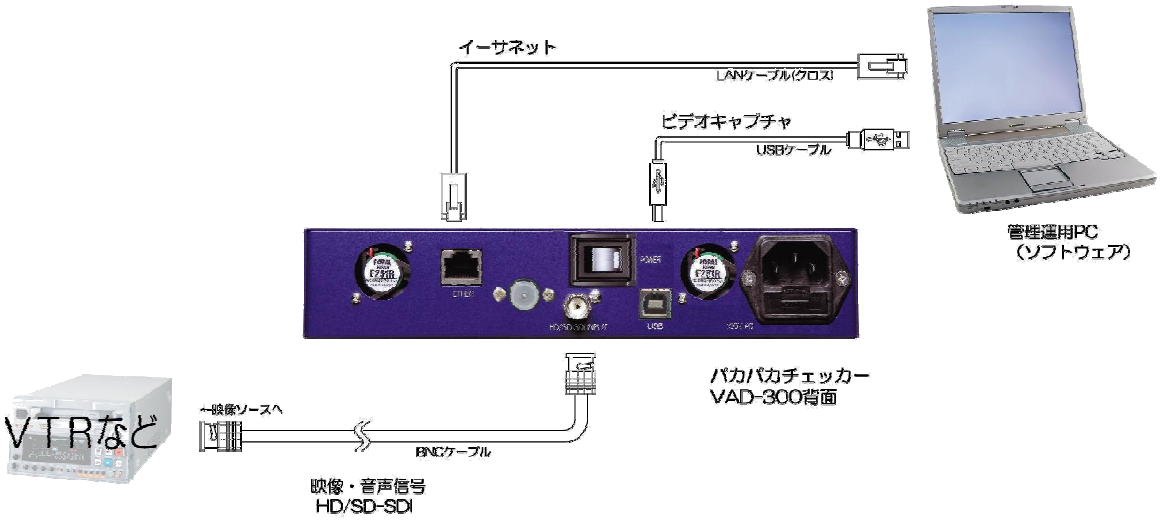
4．メンテナンスコネクタ
通常使用しません。キャップを取り外さないで下さい。

5．HD／SD-SDI　INPUT
SDI映像入力コネクタです。
映像機器のSDI信号出力と接続します。

6．USB
ビデオキャプチャのためのUSBコネクタです。

7．100V AC
AC 入力(3P インレット)です。

4．接続方法


イーサネット
LANケーブル(クロス)
ビデオキャプチャ
USBケーブル
管理運用PC
（ソフトウェア）
パカパカチェッカー
VAD-300背面
VTRなど
←映像ソースへ
BNCケーブル
映像・音声信号
HD/SD-SDI

5．ＩＰアドレスの設定

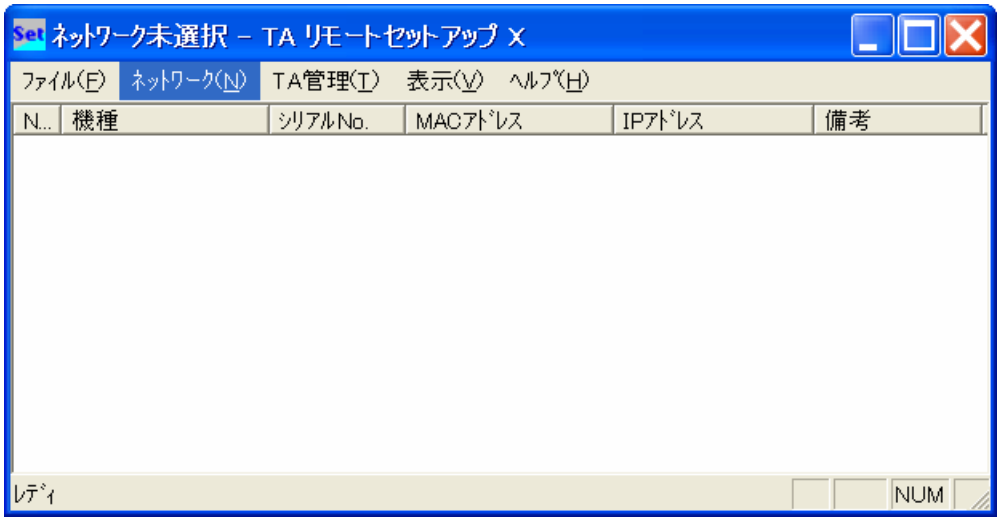
5．1．ＶＡＤ－３００のＩＰアドレスの設定

ＶＡＤ－３００のＩＰアドレスは、専用ツール”TASetupX”で変更します。

1）ＶＡＤ－３００のＥＴＨＥＲコネクタと Windows PC を、LAN 経由で接続で接続し、ＶＡＤ－３００の電源を投入します。（クロスケーブル直結または HUB 経由）

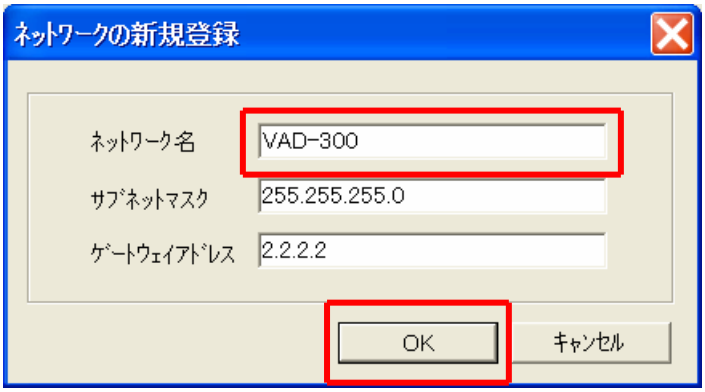
※PC の OS が WindowsXP サービスパック２の場合は、ソフトの起動前に Windows ファイヤーウォールを無効に設定して下さい。

2）Windows PC 上で“TASetupX.exe”を起動します。



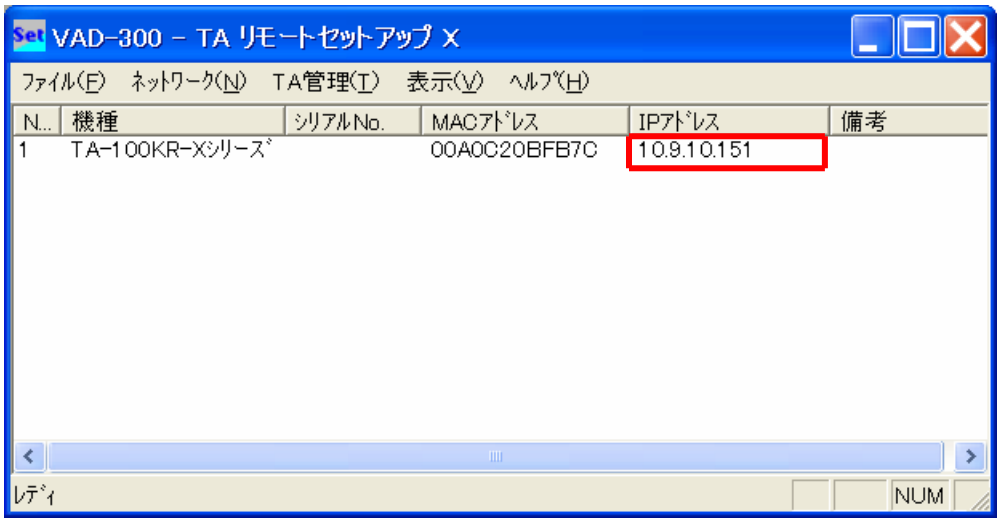
3）初回のみネットワーク名称の登録を行う必要があります。

[ネットワーク]->[新規登録]をクリックします。

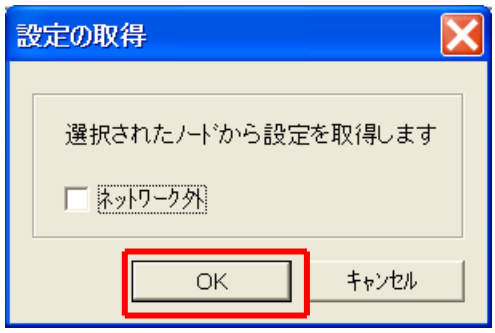


ネットワーク名に VAD-300 と入力し、[OK]をクリックします。

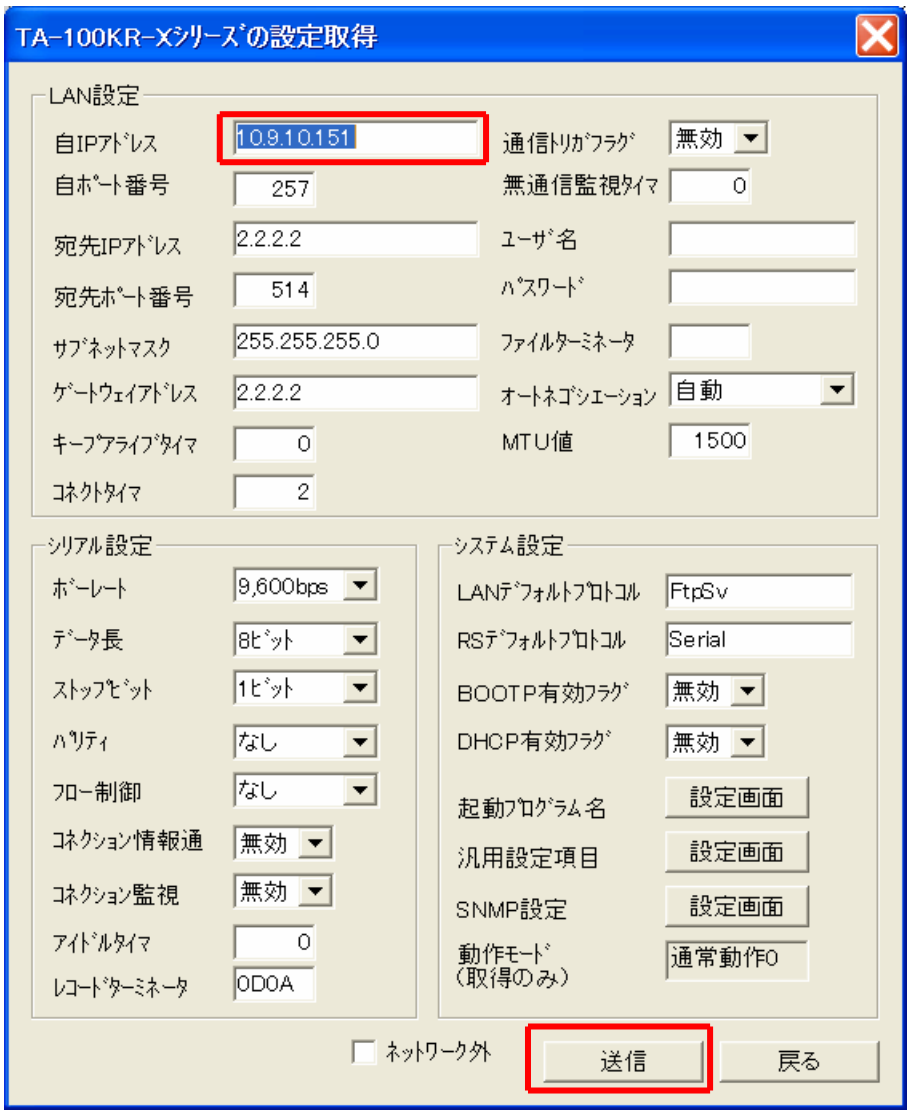
4）[TA 管理]->[その他の検索]->[リフレッシュ検索]をクリックし接続されている
ＶＡＤ－３００を検索します。ＰＣとＶＡＤ－３００の接続が完了していると、次のように
該当するＶＡＤ－３００のＩＰアドレスが表示されます。



5）表示された IP アドレスの行をダブルクリックすると、設定の取得画面が表示されます
ので、[OK]をクリックします。



6）設定取得画面が表示されます。

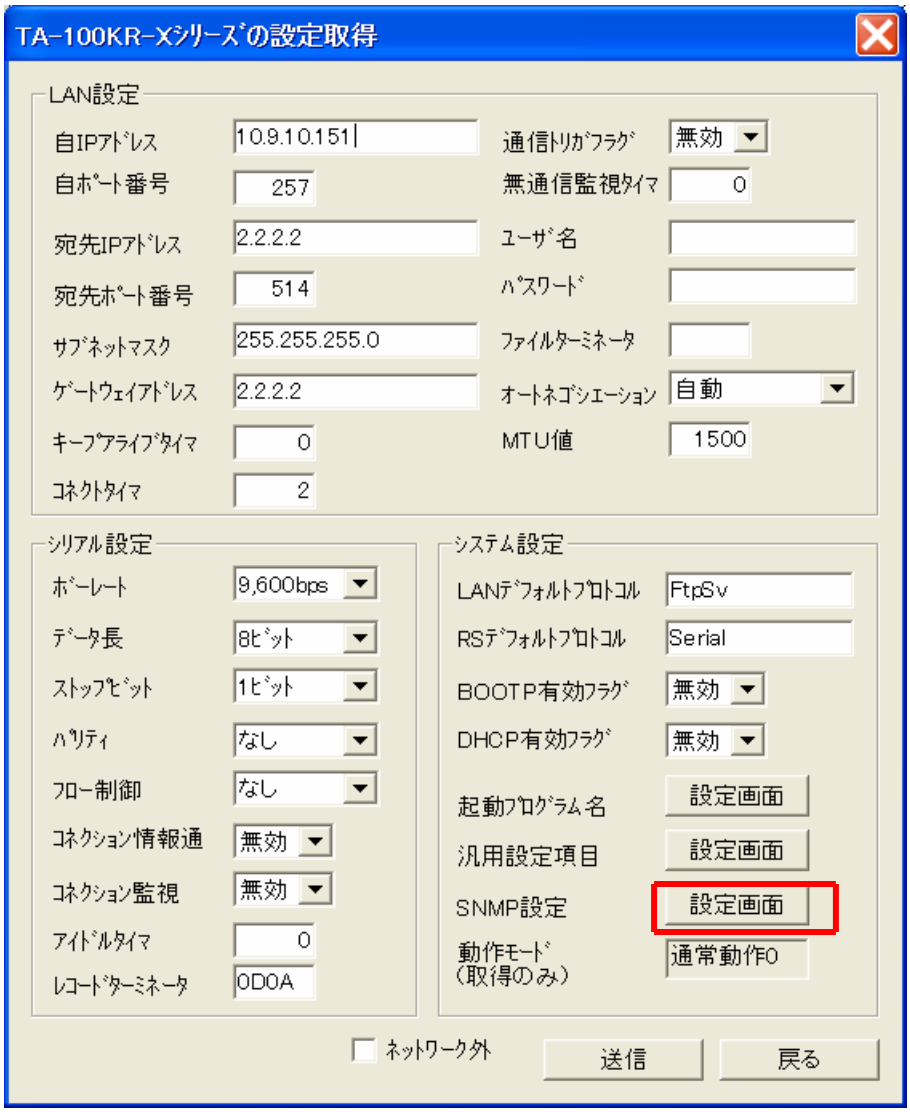


7）[自 IP アドレス] 欄（上記画面の赤枠部分）の IP アドレスを変更し、
「送信」ボタンをクリックします。
この時、[自 IP アドレス] 以外の項目は絶対に変更を行わないで下さい。
（エラー検出基板が正常に動作しなくなります）

8）ＩＰアドレス設定の変更を行った場合は前出の[リフレッシュ検索]を行い、変更後の
ＩＰアドレスを確認して下さい。

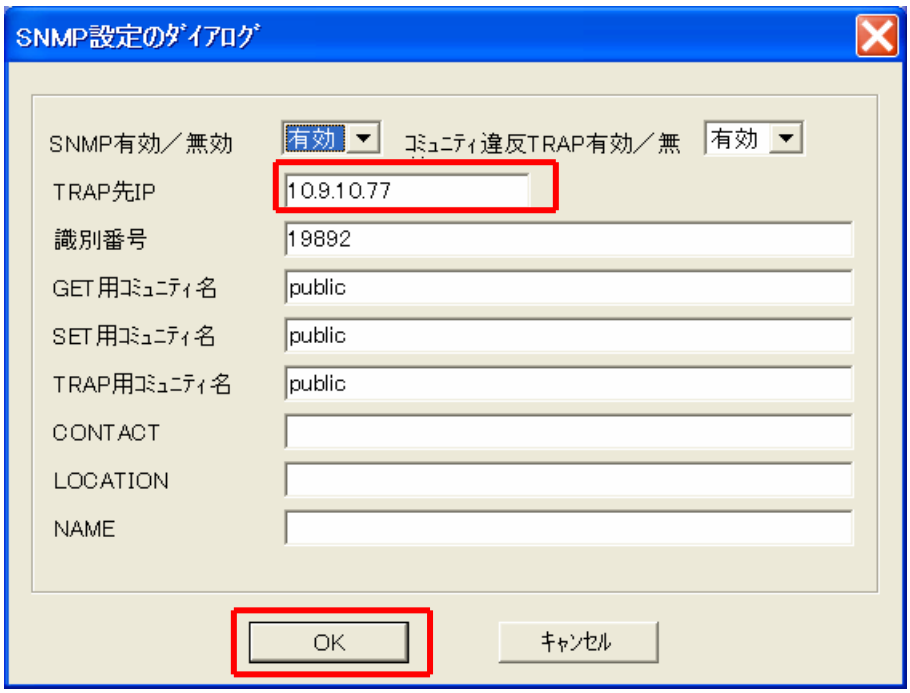
５．２．Ｔｒａｐ先ＩＰアドレスの設定

１）前項と同様の手順で、設定取得画面を表示します。



２）設定取得画面で「SNMP 設定」[設定画面]ボタン（赤枠部分）をクリックします。

3）「SNMP 設定」ボタンをクリック後に下記の画面が表示されます。



4）[ＴＲＡＰ先ＩＰアドレス]を変更し、[ＯＫ]をクリックします。

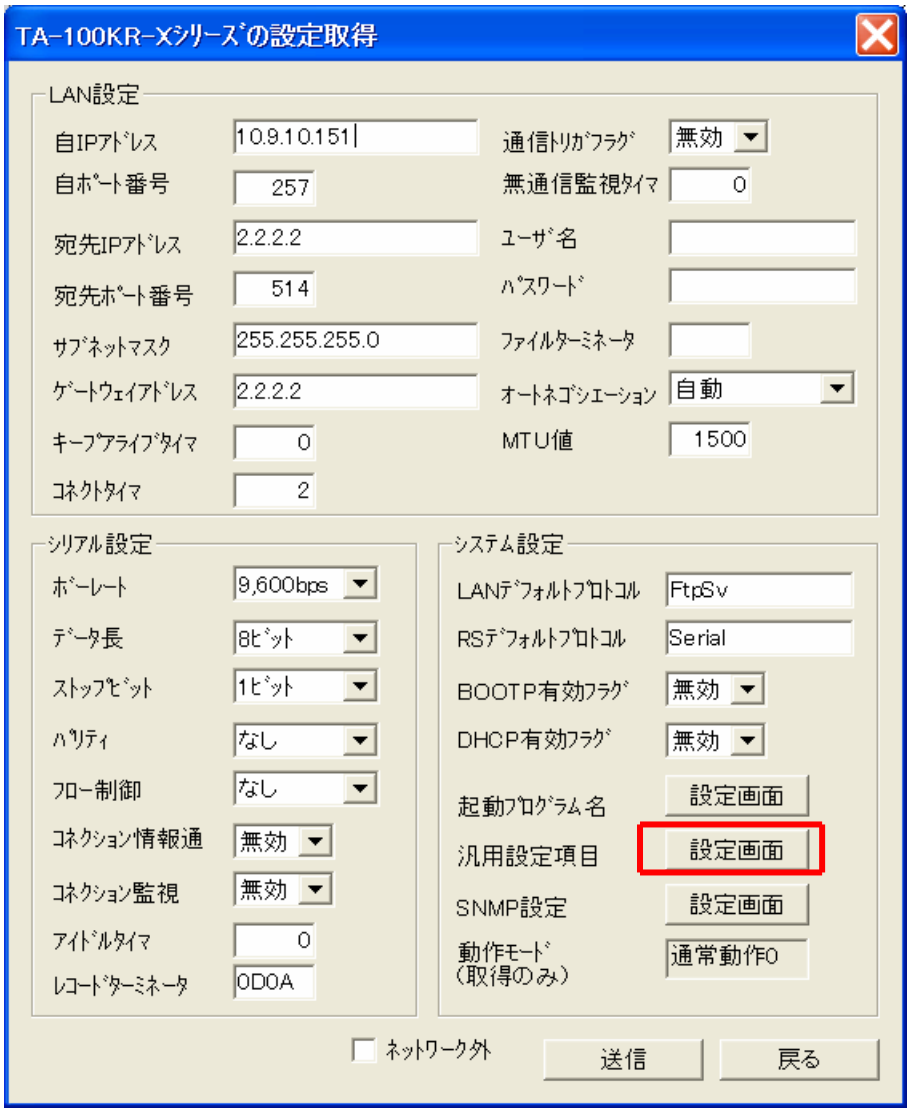
この時、［ＴＲＡＰ先ＩＰアドレス］以外の項目は絶対に変更を行わないで下さい。

（エラー検出基板が正常に動作しなくなります）

5）設定取得画面に戻った後、設定取得画面の「送信」ボタンをクリックします。

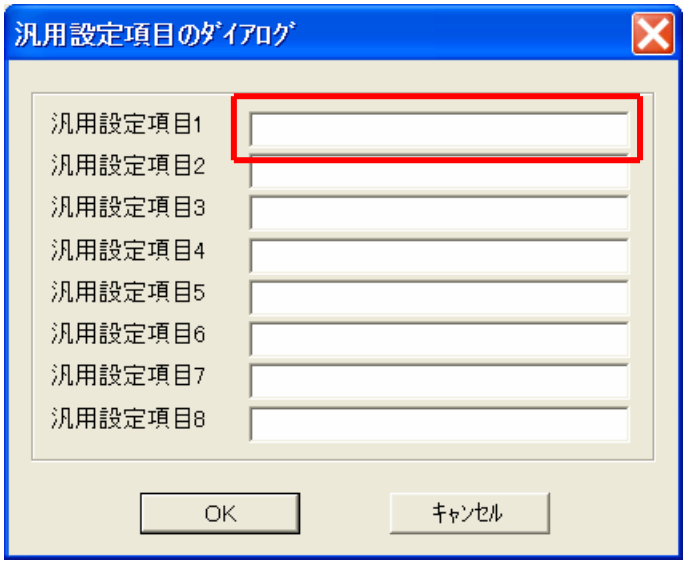
５．３．複数のＩＰアドレスをＴｒａｐ先に設定する方法

１）前項と同様の手順で、設定取得画面を表示します。



２）設定取得画面で「汎用設定項目」[設定画面]ボタン（赤枠部分）をクリックします。

３）「汎用設定項目」ボタンをクリック後に下記の画面が表示されます。



４）[汎用設定項目]にＴＲＡＰ先ＩＰアドレスを記入し、[ＯＫ]をクリックします。
最大８アドレス指定することができます。

５）設定取得画面に戻った後、設定取得画面の「送信」ボタンをクリックします。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは
販売店：   ＴＥＬ 担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒９５９－０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８